



2020年10月29日 第2426回例会
10月第5例会

RIテーマ ROTARY: ROTARY OPENS OPPORTUNITIES
「ロータリーは機会の扉を開く」

本年度会長テーマ
「ロータリーを心地よく」

「地域社会の経済発展月間」「米山月間」

◆ 会長時間 ◆

浜田会長



2020-21年度RI会長 ボルガー・クナークさんの会長テーマは「ロータリーは機会の扉を開く」とされ「無限の機会への招待」であるとも述べられています。

少し前の話ですが、1994-95年度2710地区のガバナーをされました広島東RCの故 筒井 数三パストガバナーのお話を思い出します。

船舶用ポンプ世界ナンバー1の㈱シンコーのお話です。筒井さんが何かの用事でイギリスに行かれた時、会合で偶然隣の席に座られたイギリスのロータリアンと親しくなり「もし時間が許せば私の造船所に帰国前に立ち寄ってみませんか？」と誘われたので、少し回り道にはなったのですがその造船所を訪問したところ、船舶用ポンプの話題でおおいに盛り上がり急遽商談になったのが船舶用ポンプの開発に注力し始めたきっかけであったと述べられておりました。ロータリーの縁で現在の㈱シンコーがあるというお話を、感謝の気持ちを込めて話されておられたのがとても印象的でした。

新型コロナウイルスの影響で他クラブへのメーキャップはなかなか叶いませんが、世界中のクラブへのメーキャップができる権利を我々は持っているのも確かです。様々な良い機会・素晴らしい経験等「百聞は一見に如かず」を直かに試すこと

も可能です。

もし仕事としてではお会いすることが不可能であろう人も、ロータリーの会員としてなら、数万人の方と普段着での会話ができる機会が数知れずあるということです。

☒ 物故会員に黙祷

広島西南ロータリークラブ 田中 和之（たなか かずゆき）会員（㈱ライズプロジェクト代表取締役）が10月26日(月)にご逝去されましたので、謹んでお知らせいたします。(享年55歳)

● 会務報告 原 幹事

※来年3月に開催予定であったグループ6・7合同インターシティミーティングは、新型コロナウイルス感染症の影響による開催会場収容人数等の制限のため、開催中止が決定されましたのでご報告します。

● 委員会報告

✳ プログラム・出席委員会

出席報告 大植君

本日(10月29日・木曜日)

会員数	88名	出席者	73名
欠席者	15名	ご来客	0名
ご来賓	2名	ゲスト	1名
		計	76名

4週間前の例会(2020年10月1日・木曜日)

出席率 100%



✳️ 創立50周年記念誌・広報委員会 土井委員長
広島西ロータリークラブ創立50周年記念誌
の配布について

お待たせいたしました。2か月遅れましたが
記念誌がやっと出来上がりました。ボックスに
入れております。

会員の皆さんには原稿・写真・資料等提出し
ていただき、また校正までしていただきありが
とうございました。中には何度も写真を撮った
り、何度も原稿を出していただいたりと、お手
数をお掛けいたしました。

これをもちまして創立50周年記念誌・広報委
員会の活動をすべて終了させていただきます。
ご協力ありがとうございました。当委員会の皆
さんもお疲れさまでした。

● スマイルボックス SAA 三浦君

😊井原君（自主申告・大枚）

3月、4月、5月と新型コロナウイルスの
影響で患者さんの数が減って、診察室でボー
としている時間が増えました。ボーっとしてい
たら“チョコちゃんに叱られる”と思いながら本棚
を整理していたら、中国新聞夕刊の“でるた”
の欄に寄稿していたエッセイが見つかりまし
た。尾形君にお願いして調べてもらったところ、
40年前の1980年4月7日、私の髪の毛が
まだ充分ある頃のものでした。

医学医療関連の駄文も度々書いていたし、
例会で度々卓話をさせてもらって抄録が残っ
ていることを思い出し、土井君にお世話になり
これらの文章をまとめて本にしてみました。
新型コロナウイルスのせいで頭がおかしく
なったのでしょうか。迷惑な話ですが、どうか
御笑読ください。

😊大本君、小田君、大植君、松田君

10月1日は「法の日」でした。

昭和3年10月1日に陪審法が施行され、そ
の後、昭和4年にこの日を司法記念日に制定
されました。さらに、裁判所・検察庁・弁護
士会の進言により、法務省が昭和35年10月1
日を「法の日」に制定し、国を挙げて法の尊
重、基本的人権の擁護、社会秩序の確立の精
神を高める日だそうです。

ということで、大本君、小田君、大植君、松
田君、当クラブの弁護士さんの今後ますますの
ご発展を祈念し、スマイルボックスにご招待し
ます。

😊瀬崎君

10月2日、西広島タイムスに『広島ドラゴ
ンフライズを応援ラッピング電車』と題し、広
島電鉄が出発式を行った記事がありました。

今季から、男子プロバスケットボール・Bリー
グ1部に昇格した広島ドラゴンフライズを応援
しようと広島電鉄が、外観にはチームのシンボ
ルマーク「朱炎」と書いたスローガンロゴのほ
か選手集合写真を、内装には壁面に12人の選
手やB1昇格までの軌跡をパネルで紹介してい
ます。主に広島駅から西広島駅を経由し宮島口
駅を来年の9月まで走る予定だそうです。

😊部谷君

連日とっていいほど、ひろぎんホールディ
ングス・広島銀行関連の記事が掲載されてい
る中、中国新聞の10月17日には『企業の課題解
決に注力』10月23日には『地域を元気にする
M&A』さらに翌日には『福岡銀行と海外業務
提携』と題し部谷君の写真入りでの掲載があり
ました。

大変お忙しい中、健康には充分ご留意いた
だきたいと思います。

😊香川(基)君

10月24日、中国新聞に1964年東京オリンピ
ックにむけた広島県内初の聖火走者の記事があり
ました。

今から56年前、県内初の聖火ランナー三浦
さん（19歳）は、当時百貨店 福屋に勤務され
ており、その後も定年まで真面目に勤め上げた
とのことでした。

ということで、香川(基)君と福屋のますま
すのご発展を祈念いたします。

● 卓話予告

日時	テーマ
11/12(木)	「留 学 報 告」 2019-20年度 青少年交換派遣学生 奥田 麟太郎さん
	「新 会 員 卓 話」 小下 学 君

■ 卓 話



都心活性化をめぐる 最近の状況について

広島市都市整備局
都市機能調整部長

城戸 宏行氏

【要旨】

今回の卓話では、「都心活性化をめぐる最近の状況について」というテーマでお話いたします。

○ひろしま都心活性化プラン

広島市は、広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区を都心の東西の核と位置付け、都市機能の集積・強化を図ることにより、それぞれが活力とにぎわいのエンジンをもち、相互に刺激し高め合う「楕円形の都心づくり」を進めています。

平成29年に策定した「ひろしま都心活性化プラン」では、「楕円形の都心づくり」に向けて早期に実施しようとする重要な施策を「先導的な取組」と位置付け、「再開発を促進するための支援」や「エリマネジメント活動の支援」などに取り組んでいます。

本年9月には、都市再生緊急整備地域のうち、特に国際競争力の強化を目指す地域である「特定都市再生緊急整備地域」に国から指定され、都市計画に関する特例や税制上の特例措置を受けることが可能となったことから、民間開発を通じて都市機能の更なる充実・強化が図られることを期待しています。



○ウォーカブル推進都市

国土交通省は昨年7月に、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指し、国内外の先進事例などの情報共有を行うとともに、国と地方とのプラットフォームに参加してウォーカブルなまちづくりを共に推進するという、「ウォーカブル

推進都市」の趣旨に賛同する都市を募集し、本市も賛同しています。

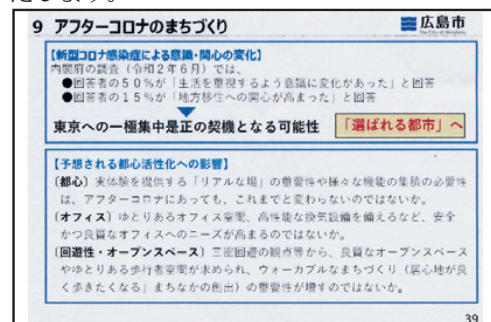
また、今年度、国土交通省は「居心地良く歩きたくなるまちなか」を実現するため、官民連携によるエリアプラットフォームの構築や未来ビジョンの策定等の取り組みを総合的に支援する「官民連携まちなか再生推進事業」を創設し、本市においては、相生通沿道での社会実験を実施した実行委員会が母体となった「カミハチキテル」と、袋町・並木通りを対象に活動を行う「並木コンソーシアム」の2団体が当該補助事業の採択を受け、未来ビジョンの策定に向けて活動を行っており、本市もその構成員として支援しているところです。



○アフターコロナにおける都心の活性化

本年6月に内閣府が行った「新型コロナウイルス感染症による意識・関心の変化」に関する調査によると、回答者の50%が「生活を重視するよう意識に変化があった」と回答しており、また、回答者の15%が「地方移住への関心が高まった」と回答していることから、東京への一極集中は正の契機となる可能性があると考えており、国内外の様々な方から「選ばれる都市」となるよう、更なる都市機能の充実・強化を図っていく必要があります。

今後とも、事業者、市民、エリマネ団体など様々な方々と連携しながら、ハード・ソフト両面において魅力ある都市空間の創出に取り組んでいきたいと考えていますので、引き続きよろしく願いいたします。





1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 浜田 広
幹 事 原 敬

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作 成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索

